

製品名: CDT1 (3N6) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08589**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	CDT1
別名	CDT 1; Chromatin licensing and DNA replication factor 1; Retroviral integration site 2; RIS2;
遺伝子 ID	81620.0
SwissProt ID	Q9H211
免疫原	ヒト CDT1 の組み換えタンパク質

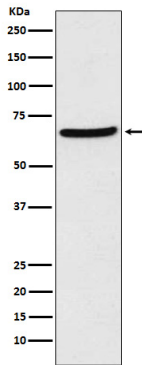
背景

CDC6 と協力し、ミニ染色体維持複合体のクロマチンへのローディングを促進し、DNA 複製の開始に必要な複製前複合体を形成します。配列、鎖、および立体構造非依存的に DNA に結合します。潜在的ながん遺伝子です。DNA 複製と有糸分裂の両方に必要です (PubMed:11125146、PubMed:22581055、PubMed:21856198、PubMed:14993212、PubMed:26842564)。DNA 複製ライセンス因子であり、複製前複合体の組み立てに必要です。細胞周期の G1 期に CDC6 および複製起点認識複合体 (ORC) と協力し、ミニ染色体維持 (MCM) 複合体の DNA へのローディングを促進し、複製前複合体 (pre-RC) を生成します (PubMed:14672932)。安定したキネトコア-微小管結合を促進することで有糸分裂にも必要である (PubMed:22581055)。潜在的ながん遺伝子 (類似性による)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HEK293 細胞溶解物中の CDT1 発現のウエスタンブロット解析。